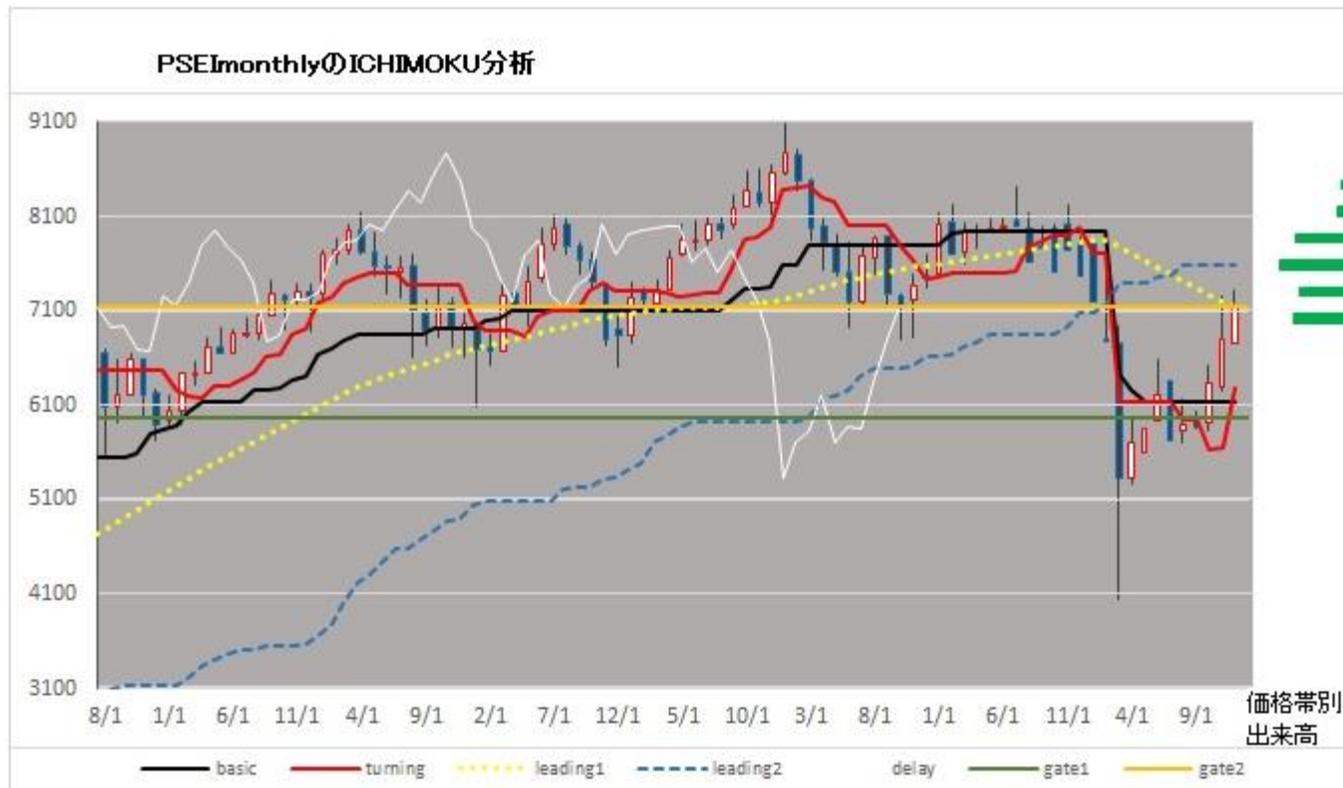


## 2021年の活躍必至！フィリピン市場を熱くする沸騰5銘柄と根拠

21年相場をリードする期待大の5銘柄を紹介!!



複製禁止。本資料はGLB.inc（以下「当社」といいます。）が情報提供のみを目的として作成したものであり、投資の推奨を行うものではありません。また、提供する情報は当社が信頼に値すると判断したものを採用しておりますが、その正確性を保証するものではありません。また、これらを基にしたお取引及びその結果について当社は一切の責任を負いません。本データは将来の利益や結果を約束するものではありません。売買の最終判断はご自身の判断をお願い致します。また、本システムは事前の告知および予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

## ノミネート銘柄No.1

## Ayala Corporation(AC)

21年目標値=P960

【特徴】フィリピンを代表する企業のひとつで巨大グループを形成している。財閥系の中では柔軟な経営を取り入れ、M&A手法を組み入れ積極的な事業再構築を推進している。

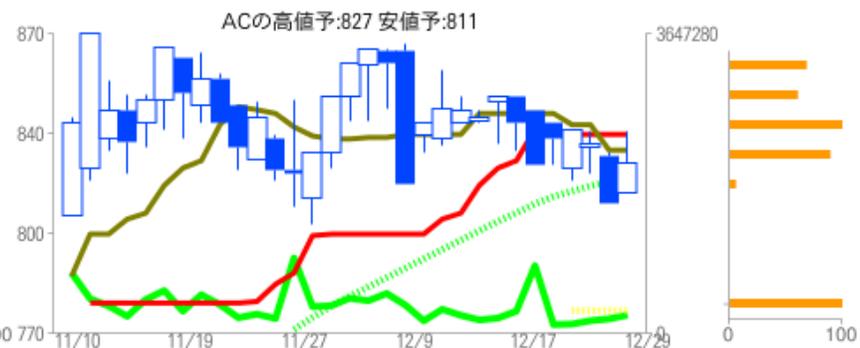
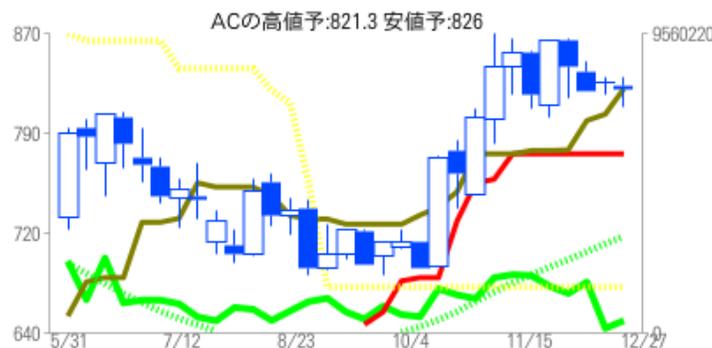
【紹介根拠】中央銀行が22年末まで低金利政策の維持を公表、資金の調達・運用でスケールメリットを享受できるほか、近々、取引所に完全信用取引制度が導入され、外人投資家の売買がさらに厚みを増す見通し。

### Rating ★ 銘柄名 (シンボル) Ayala Corporation(AC) (月足コメント)

セクター：Holding Firms 採用指数：PSEI パターン分析 週足：- 日足：- 変化日 週足：2/14 日足：1/12

週足TOPテクと判断TRMA：ドテン売り

日足TOPテクと判断MACD：売り継続



## ノミネート銘柄No.2

Ionics, Inc.(ION)

21年目標値＝P3.20

【特徴】記憶装置関連の技術が強い電子機器メーカー。規模的には中堅どころ。COVIDによるモバイル、ホームステイ系機器の需要増を背景にV字型の業績回復を達成。

【紹介根拠】政府が国策として輸出型産業の強化を打ち出す。電子関連はトップランナーで様々な支援策を期待。またASEAN+周辺5か国が加盟するRCEP（地域包括的貿易連携）が本格化、フィリピンが弱いとされる素材部品の低価格化で、業界の競争力が向上する見通し。

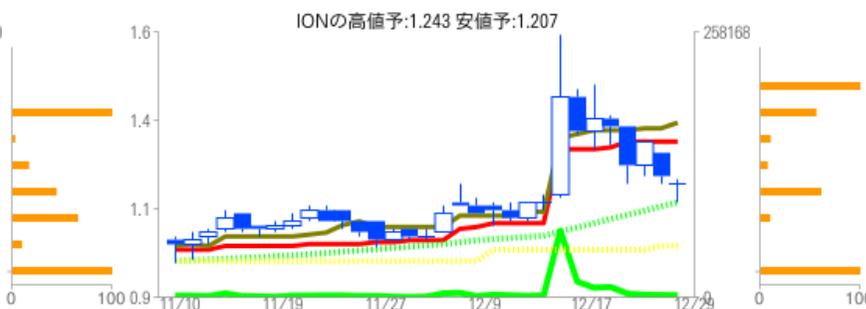
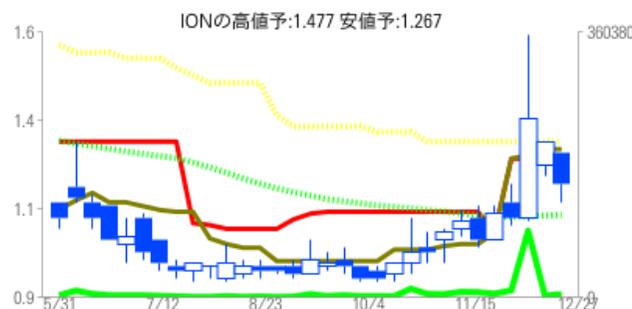
Rating 銘柄名 (シンボル) Ionics, Inc.(ION) [\(月足コメント\)](#)



セクター：Industrial 採用指数：PSIN パターン分析 週足：- 日足：同事線(転) 変化日 週足：2/7 日足：1/12

週足TOPテクと判断ZigzagSP：買い継続

日足TOPテクと判断ZigzagSP：売り継続



【会社概要】1982年に電子機器メーカーとして創業。99年に製造を子会社に移し持ち株会社化。ディスクドライブ、磁気ヘッド、システム、およびサーバシステムの製造および組み立てに従事。製品の設計およびテストも手掛ける。

## ノミネート銘柄No.3

## NiHAO Mineral Resources(NI)

21年目標値=P6.50

【特徴】ニッケルの採掘会社。二次電池向けにニッケル需要が急拡大、それに伴う市況急騰を背景に、一気に高収益企業へ変貌。

【紹介根拠】ニッケルの需要急増に加え、国策として鉱業を育成する方針。地方政府などの開発鉱山などの民営化や停止中の案件の再開などが進められる。さらに夢のある材料として水素電池製造で不可欠な「ランタン」鉱も有望。ゼロカーボン世界の救世主になるか。

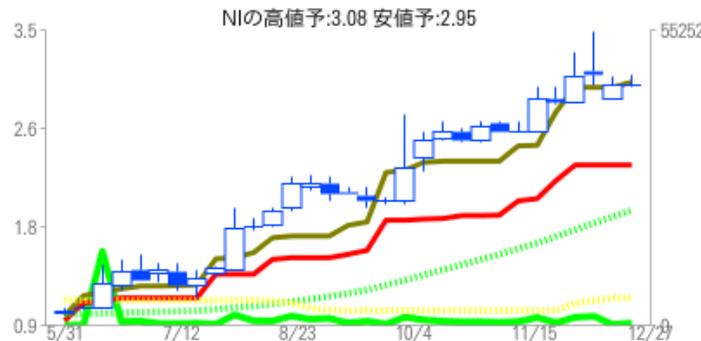
Rating



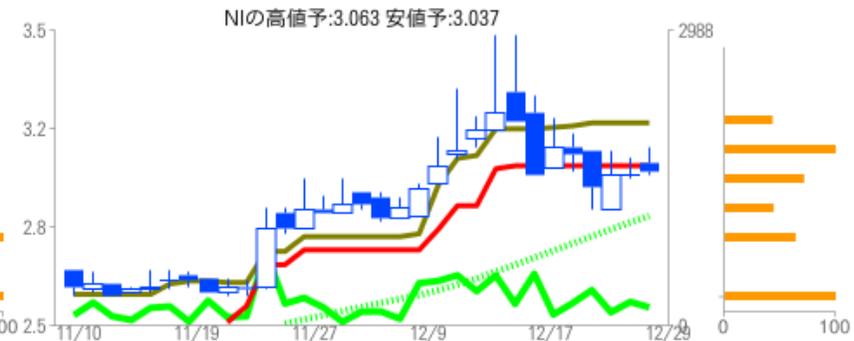
銘柄名 (シンボル) NiHAO Mineral Resources International, Inc.(NI) [\(月足コメント\)](#)

セクター：Mining and Oil 採用指数：- パターン分析 週足：- 日足：- 変化日 週足：5/16 日足：1/4

週足TOPテクと判断MACD：買い継続



日足TOPテクと判断EMACross：買い継続



【会社概要】 鉱物探査会社。ZambalesのBotolanとIbaでニッケル採掘プロジェクトを展開。

## ノミネート銘柄No.4 Now Corporation(NOW) 21年目標値=P8.80

【特徴】フィリピンの代表的IT企業。Nokiaと業務提携し5Gネットワークを構築中。先行投資が重く足下は増収減益基調だが、21年は大幅増益へ。

【紹介根拠】5G関連ということも強みだが、最大の根拠は取引所が21年第1四半期に2つのセクターインデックスを追加する計画であること。詳細は明らかになっていないものの、ひとつはIT・通信関連になるのが濃厚で、正式決定なら当社も組み入れられる公算大。指数採用銘柄となった銘柄の株価の水準訂正は必至。

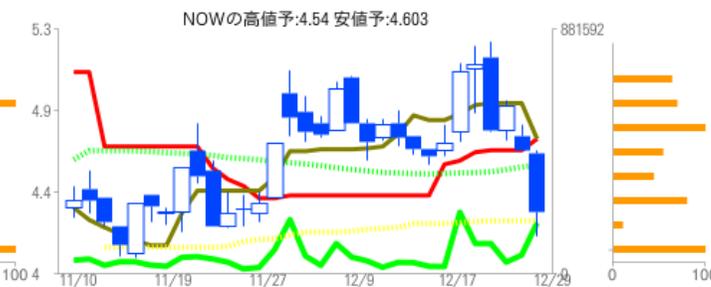
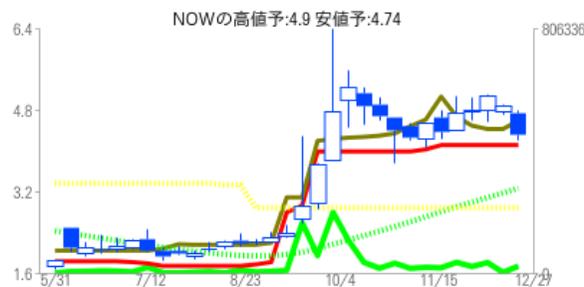
Rating 銘柄名 (シンボル) Now Corporation(NOW) [\(月足コメント\)](#)



セクター：Services 採用指数：PSSE パターン分析 週足：- 日足：- 変化日 週足：3/14 日足：1/7

週足TOPテクと判断TTF：買い継続

日足TOPテクと判断ATAN：ドテン売り



【会社概要】ナウ (Now Corp.) は、通信、メディアおよび情報技術に関する製品・サービスを提供。ライセンスされた企業を通じて、有線・無線、固定通信・モバイル通信、ソフトウェア・ハードウェア技術、ビジネス処理受託、コールセンター、その他の情報技術アプリケーションに対する付加価値サービスを提供する。(旧称：Information Capital Technology Ventures, Inc.)。19年、独自開発のFiber in the Airを使ったフランチャイズ方式のネットワーク構築を開始。

## ノミネート銘柄No.5 Century Pacific Food(CNPF) 21年目標値=P28.0

【特徴】フィリピンを代表する食品加工メーカー。とくにツナ缶では世界的な製造シェアを握る。19年にココナツ事業に参入、新たな経営の柱に育成。

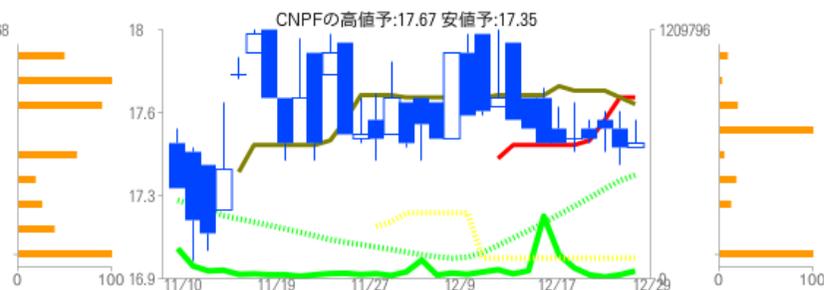
【紹介根拠】新規事業のココナツ部門で大口注文を獲得。世界有数のココナツウォーターブランドであるVita Cocoから年商2億ドル弱の長期契約で、当社年収の20%近くに匹敵。21年からの出荷に合わせ3億ペソを投入し設備を増強。ココナツは世界的なブームでさらに追加契約の可能性も高い。

Rating ★ 銘柄名 (シンボル) Century Pacific Food, Inc.(CNPF) (月足コメント)

セクター：Industrial 採用指数：PSIN パターン分析 週足：- 日足：- 変化日 週足：2/7 日足：1/5

週足TOPテクと判断ADX：買い継続

日足TOPテクと判断linest：ドテン売り



【会社概要】フィリピン最大の缶詰食品会社。主に加工水産物、肉類、乳製品の開発、販売、流通の一貫事業が特徴。輸出向けに自社ブランドのマグロ製品も手掛ける。19年内にGeneral Santos Cityにマグロ缶詰の新工場を建設の予定。19年、自社ブランドでのココナツ製品の製造・販売に新規参入。